



4/29 『本物』の迫りに圧倒!! (日名交流館かぐら)

備中神楽の基礎を築いた西林國橋にちなんだ「國橋まつり大神楽大会」(同実行委員会主催)が開かれ、市内外から訪れた約1,200人が神楽の舞を楽しみました。

備中神楽の発祥の地で行われたこのまつりには、高梁、総社、井原市の神楽社から10人の神楽太夫が集い、約7時間にわたり演じました。

勇壮で躍動感にあふれる舞いに、観客からは大きな声援や拍手が送られ、会場内は興奮に包まれました。

4/29 こんなに乗って大丈夫!? (落合ふれあい公園)

「落合ふれあい公園まつり」(高梁商工会議所落合支部主催)が行われ、多くの家族連れが訪れました。

ふれあい公園の開園1周年を迎えるにあたり行われた今回のイベントでは、ミニSLの無料乗車会やソフトグライダー飛ばし大会など、子ども向けの楽しいイベントに子どもたちは大はしゃぎ。また、子どもたちによるダンスショーや神楽の舞いを、訪れた人たちは真剣に見入っていました。



4/29 春っておいしいんだね (コミュニティハウス田原荘)

「田原の春を揚げよう会」(備中町田原コミュニティ協議会主催)が行われました。

晴天に恵まれたこの日、参加者はまず食材を求めて地区内を探索し、収穫したタラの芽、タケノコ、コシアブラ、フキ、ユキノシタ、ネギ坊主など約30種類もの食材を天ぷらにして食べました。

揚げたての天ぷらに塩をかけ、そのまま食べたり、ご飯にのせて天丼にしたりと思いつきの食べ方で春の味を堪能しました。

▼山々がきれいな黄緑色に染まり、風がさわやかな季節になりました。市民の皆さんが、読みやすい紙面にしようと、4月号からレイアウトを少し変更しています。お気付きでしょうか？紙面内容の充実はもちろんですが、まず手に取って読んでいただかないと始まりません。ページをめくった時に興味を引くような紙面を目指していきます。

▼ゴールデンウィークを利用して和気町の藤まつりに行きました。カメラを持って歩いていたら、ご婦人グループや仲良し夫婦から記念撮影を頼まれることがしばしば。こういった時々のために、日ごろから撮影技術の向上に努める必要性を痛感しました。良いように撮れたかな？個人的には、我が子が公園内を楽しそうに走り回る姿を楽しく撮影できました。(TK)

▼皆さんは「高梁のドコが好き？」と聞かれたらどう答えますか？先日、取材先で観光客に聞かれ「自然豊かで歴史があり、災害が少ない」とうまく答えることができませんでした。高梁に住んでいる私だからこそ「高梁のココが好きだ」と自信を持って答えられるよう、もっと高梁を知ろうと思います。(KY)



編集後記



4/15 おかえり！葛城ユキさん (弥高山公園)

「春らんまん！弥高つつじ祭」(川上町観光協会主催)が行われ、市内外から多くの人が訪れました。

会場内では伝統芸能である渡り拍子、子ども神楽が行われ、訪れた人に福の種を振る舞いました。

また、ステージでは、大道芸やポコ・ア・ポコのミニライブ、そして地元川上町出身で歌手の葛城ユキさんの歌謡ショーがあり、大いに盛り上がりました。

4/15 どーもくんがやってきた！ (総合文化会館)

NHKBS番組「みんなDEどーもくん！」(NHK岡山放送局・高梁市主催)の公開録画が行われ、多くの家族連れでにぎわいました。

テレビでおなじみのどーもくん、うさじい、たーちゃん、ななみちゃんたちによる楽しい劇を見たり、あんりお姉さんたちと手遊びやダンスをしたり、ゲストのエリックさんが即興で作った「備中松山城」の歌をはじめとするステキな英語の歌を歌ったりと、あっという間の1時間でした。



4/28 リニューアルオープンしました (うかん常山公園)

うかん常山公園のレストハウスが、4月24日に「お食事処 米屋」としてリニューアルオープンしたことを記念して、オープニングセレモニーが行われました。

晴天に恵まれたこの日は、鏡開きを行った後、銭太鼓や傘踊りといった地域芸能ステージや餅つきなどでオープンを祝いました。

新しくオープンしたレストハウスには、こだわりの「うかんぶっかけうどん」をはじめとした、さまざまなメニューがあります。